



柏崎市立博物館 業務専門員

## 東條 瑞紀

TOJO MIZUKI

1992年 柏崎市出身  
2019年～業務専門員として博物館に勤務

12月に入ると街路樹や家などが華やかな電飾や光で飾られた光景に出会う。冬の夜を美しく彩るイルミネーションを眺めるとクリスマスが近づいているのを実感する。「今年のクリスマスは、ぜひプラネタリウムで夜空のイルミネーションを楽しんでください」と笑顔で話す東條瑞紀さんは、柏崎市立博物館で主にプラネタリウムを担当する業務専門員として働いている。

博物館のリニューアルを機に導入された最新型の投影機器オルフェウスを使ったプラネタリウムは、高精細な美しい映像とドーム全天で88星座という迫力ある星空が体験できる。

現在、博物館では4人のオペレーターが交代でプラネタリウムを担当している。番組の投影だけでなく、各回の前半は柏崎から見える今日の星空やその季節ごとの星座、それにまつわる神話など、それぞれの担当者が工夫を凝らした思い思いの生解説を披露しているのも実は見どころのひとつだ。東條さんも担当の回ごとに内容や演出を考え、音楽にこだわったり、時には来場者の層を見ながら話し方を変えるなど楽しんでもらえる工夫を惜

しまない。

東條さんは柏崎市出身。高校時代は演劇部に所属。大学では法学部で学び、卒業後は柏崎に戻り市の非常勤職員として博物館に勤務、プラネタリウム投影も担当していた。博物館で働くうちに東條さんは、子供の頃から思い描いていた小学校教諭への夢がふくらみ、一旦仕事を退職。教員免許取得の準備を始めたところへ業務専門員の誘いを受けた。

「迷ったけれどやってみてよかった」と話す東條さん。実は小中学校の学習カリキュラムでは星座や月の満ち欠け、太陽の動きなどを博物館で学ぶ学習投影も行われる。それぞれの学校や担当教科の先生方と細かな打ち合わせを重ね、学習指導要領に合わせた構成や内容に仕上げるのも仕事の1つ。子供たちの学年に合わせてわかりやすい言葉で話すことは教員を目指す自分自身の勉強にもなっている。今は仕事との両立やコロナ禍のためにスクーリングができないなどの困難もあり、教員免許取得の勉強が思うように進めない時もあるが東條さんは周りの協力も得ながら、明るく前向きにしっかりと取り組んでいる。

12月の企画「プラネタリウムでクリスマスイベント」は「夜空のイルミネーション」がテーマ。冬の夜空を代表する明るくカラフルな1等星のほか、星雲や惑星、流れ星など夜空のキラキラを探しに行こうというもの。角田学芸員が企画とプログラムを担当し東條さんがシナリオを制作、2人の掛け合いやクイズなどもあるオリジナル企画。ぜひ親子で楽しい時間を過ごしていただきたい。

（夜空のイルミネーションを見に行こう！）

### プラネタリウムクリスマスイベント

12月19日①・20日② 両日とも 11:00～/14:00～（約50分間）

各回40人（先着、当日受付）車椅子スペース2台あり  
各回1時間前からエントランスでクリスマスツリーの飾りつけができます！

※間隔を空けた座席のご利用となります。  
※期間中の定期投影（番組投影）はありません。

※感染症対策のため内容が変更になる場合があります。最新情報はHPでご確認ください。

#### お問い合わせ

柏崎市立博物館

TEL 0257-22-0567

営業時間 午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分）

休 月曜（祝日の場合は翌日）

入館料 常設展示／一般300円 小中学生無料

プラネタリウム／一般200円 小中学生100円

常設・プラネタリウム共通／一般400円

